



学問探究 チュートリアル

総合科目(学士基盤科目)
2026年度 第3期生募集

未来の扉、開けてます。



筑波大学
University of Tsukuba

その扉の向こうには何があるでしょうか？大学に入学したばかりの皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。いまあなたは、大学の学問という扉の前にはいます。大学には、様々な学問とそれを専門とする多くの研究者がいます。しかし、これからの学問はこれまでと同様にはいきません。これからの学問を創るのはあなたです。本当に取り組むべきあなたの問いを見つけ、どうやってそれを解決すればよいかを教員と一緒に考えて、それがチュートリアル学修です。あなただけの扉を開けて、あなたの学問という道を創ってみませんか？

つくば型チュートリアル学修

学士課程にいる皆さん自身が立てる問いに向かう学究のため、皆さんの学びを実現できるよう、筑波大学は2024年度からおよそ10年間をかけてチュートリアル学修を導入していきます。創造性豊かな思考力と行動力で未来をデザインできる力が育つように、皆さん一人一人が主体的でオーダーメイドに学修できる場を整えます。

その学修活動を、図の①から⑥までの流れで整理しています。初年次のうちは自らの問題意識を問いとして定め、広く教養を深めて思考の基礎を造ることから始め、年次を経るごとに専門性を増していきます。あなたならではの広く深い学修を個別指導でサポートしていくのが、つくば型チュートリアル学修です。

「学問探究チュートリアル」

総合科目〔学士基盤科目〕履修者定員40名

筑波大学が導入していく、つくば型チュートリアル学修の第一歩として、2024年度に本学が初めて開設するのがこの科目です。本科目は、入学初年次に図の①②の実践をしてみます。自らの問いを定め、それに関連しそうな様々なことを広く知り教養を深め、思考の基礎を造ることを試みます。チューター教員*との協働作業で学究に挑みます。

*チューター教員

世界の第一線で学問分野を切り開いている本学の教員がチューター教員として、学生一人一人の考え方を育てるお手伝いをします。グループでのワークショップや、少人数での個別の対話をします。また、2年次以降も少人数で個別の対話をする教員もチューター教員と呼ぶことがあります。

**学修アドバイス

学生自身の依頼やチューター教員による紹介に応じて、具体的な専門に関わる内容について、学内外の研究者からアドバイスを受けるしくみ。

「学問探究チュートリアル」はこのような皆さんを待っています

本学に入学してきて、大学らしい学びをしてみたいけれども、どのようにしてそれを見つけて進めていくのがよいかわからない人、「自分には何か足りないぞ」と思った人、やれば何かはできると思っているけれども、自分自身のありようがまだよくわかっていないという気持ち強い人、知的な取っ組み合いをしたいという人は、本科目での実践が役立つかもしれません。すでにこんな研究がしたいと方向が定まっている人は、先導的研究者体験プログラム(ARE)やエンブリオ・プログラムへの参加も検討してみてください。

学修プロセス

④ 専門分野で問いをさらに究める

年次も進み、問いをその専門分野の教員の指導の下で求めます。問いが自分の学群・学類の専門分野に近ければ、その教員が指導に当たることになるでしょう。新たに学修アドバイス**を受けることも大いに可です。

③ 智を活かし創造力を鍛える

問いを解く手がかりになる知識や知恵を学び学究のための基礎を造ります。学内の講義科目も積極的に使う計画も立ててみます。様々な知識を縦横に絡め、創造力も鍛えます。ここでもチューター教員*が相談にのります。学修アドバイス**も受けられます。

② 問いを定め、多様な専門分野の広がりから学ぶ・気づく

「学問探究チュートリアル」で自分自身の問題意識を醸成し、問いを定めてみます。それを様々な専門分野から見つめ、視野を広げて気づきを得ます。必要に応じて学修アドバイス**を学内外の研究者から受けることもできます。

① 自らの問題意識はどんな問いを導く?

究めてみたいと思うことは何かを考え、これを種に「学問探究チュートリアル」でチューター教員*と協働で思考を深めて視野を広げ、気づきを得ます。

⑥ 現場での学びを得る

様々な企業や団体が実施するインターンシップに参加すると、問いの源になる現場を体験できます。

⑤ 学士課程での学修を総括する

最高年次に近づくにつれ、個別指導的な探究やゼミなどが増えていきます。それまでの学修を総括していきます。

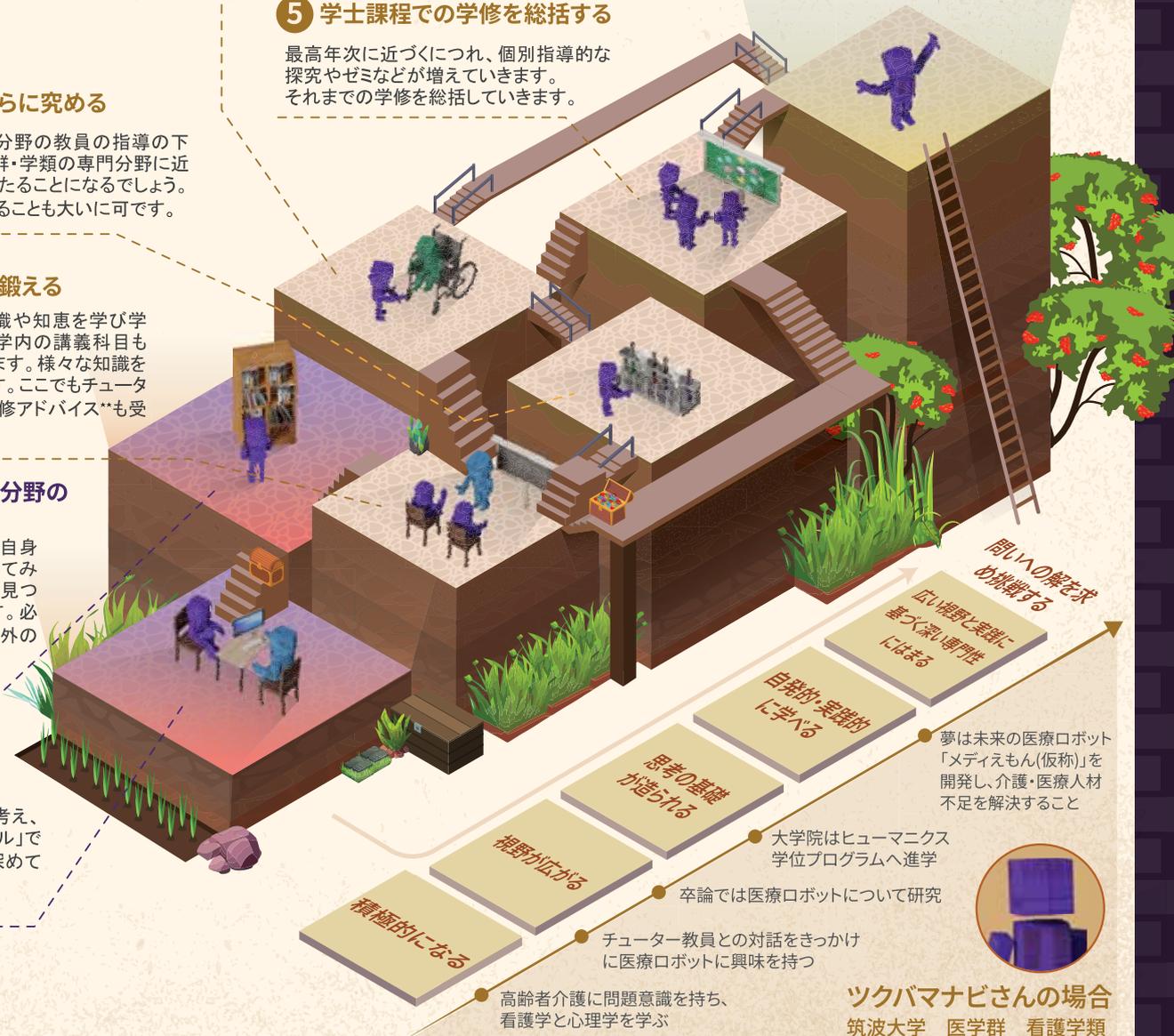
未来社会の
デザインに貢献

地球規模課題の
解決に貢献

社会で活躍

大学院進学

〔創造的〕デザイン思考



高齢者介護に問題意識を持ち、看護学と心理学を学ぶ

ツクバマナビさんの場合
筑波大学 医学群 看護学類

これまでの「学問探究チュートリアル」履修生の声

理工学群 応用理工学類

他学類の学生とも相手や自分について自然と話せる場で、その人の個性、自分の個性を存分に感じられて刺激になりました。それを糧に**自分の将来をプランする**ということは、この授業を受けていなければできない経験でした。

人間学群 教育学類

思考の深め方や整理の仕方を学んだことで、**授業外の勉強においても、自分の関心や問題意識と結び付けて考えるようになりました**。そのおかげで大学での学びがより楽しくなり、本科目によるつながりが生まれたことで、有意義な学びを得ることができました。

生命環境学群 生物学類

離れた分野の先生や学生と交流することができ、どなたも親身になって一緒に自分の興味を掘り下げてくれました。個別の対話を通して先生方や学生、SAの方々に、**自分一人では出せないような行動力を引き出してもらえました**。

生命環境学群 生物資源学類

自分が将来何をしたいのか、迷いや焦りを感じていましたが、存分に迷ってよいこと、そしていざチャンスに出会ったら、それを逃さないアンテナを張っておくことの大切さに気づきました。また、他学類の学生と真剣に意見を交わせたのは、**筑波大ならではの環境を活かしたよい経験**でした。チュートリアルを履修しないなんて勿体ないです！

社会・国際学群 国際総合学類

先生方の「学究人生紹介」では、大学から就職以外の道もあることを教えてくれました。先生も完璧な人間ではないことを知れて面白かったです。**すべての体験がこの授業でしかできないもので、自分の学修意欲を刺激してくれました**。

人文・文化学群 人文学類

本科目を通して、自分はこの筑波大学で何を学びたいのか、自分はどんな人生を歩んでいきたいのかということをしつくり考え、そして**今後どのように研究を進めていくのか、という道筋を自分なりに明確にすることができました**。



このようなみなさんを待っています！

本学に入学してきて、大学らしい学びをしてみたいけれど、どのようにしてそれを見つけて進めていくのがよいかはまだよくわからない人、「自分には何か足りないぞ」と思っている人、やれば何かはできると思っているけれども、自分自身のありようがまだよくわからないという気持ちが強い人、知的な取組み合いをしてみたい人は、本科目での実践が役立つかもしれません。

詳しくはこちら→

履修希望者が40名を超える場合、アンケートをもとに選考を行います。詳しくは、QRコードや、本科目のシラバスをご覧ください。



科目情報

科目名	学問探究チュートリアル
開設学期・曜時限	春B・水3、4限 春C～秋AB・応談 ※個別対話の日時は相談して決定
単位数	1単位
募集定員	40名

連絡先

チュートリアル学修推進委員会
Email: tutorial.edu@un.tsukuba.ac.jp
<https://tutorial.edu.tsukuba.ac.jp>